

# 年報

2021年度

筑波大学大学院 人間総合科学学術院  
人間総合科学研究群 看護科学学位プログラム

## 目次

I. 看護科学学位プログラムの組織運営	1
1. 看護科学学位プログラムの目的、教育目標	1
2. 看護科学学位プログラムの沿革	3
3. 看護科学学位プログラムの組織	6
4. 看護科学学位プログラムの施設・設備	12
II. 教育活動	13
1. 教育内容及び方法	13
2. 教育の成果と教育の質の向上及び改善のためのシステム	14
3. 大学院教務・看護科学事務の支援体制	18
III. 研究活動	19
IV. 大学院生支援	44
V. 社会貢献と国際交流	47

# I. 看護科学学位プログラムの組織運営

## 1. 看護科学学位プログラムの目的、教育目標

### 1) 看護科学学位プログラム博士前期課程および博士後期課程の理念と目的

看護科学学位プログラム博士前期課程では、学際的及び国際的な視点に基づき、看護を科学的に探究する人材を育成することを目的とします。博士前期課程では科学的な根拠に基づいて看護の指導的な役割を担う教育者・研究者を目指す学生および看護の実践能力および高度な専門性を有する看護の高度専門職業人を目指す学生を求めています。

看護科学学位プログラム博士後期課程では、看護学の高度専門職者・管理者、教育者・、政策・行政分野の看護・医療の専門家として専門的知識、技術を有するに留まらず、常に研究マインドを持って看護実践を検証していくことのできる能力を育成します。さらに、看護の専門領域だけではなく、「学際性」と「科学性」に基づく新しい看護の技術や教育・研究方法を開発できる能力を育成します。博士前期課程で養った看護実践能力や研究能力を活かし、さらに次代に向けて必要となる新たな知識の創造と、技術開発の基礎研究者となる教育・研究方法などについて体系化できる力を備えようとする教育者・研究者、あるいは、看護科学の基礎的な能力を修めた者で、実践と理論の架け橋となるための高度専門看護者・管理者、行政官を目指そうとする者を求めています。

### 2) 看護科学学位プログラム博士前期課程の特色と教育目標

看護科学学位プログラム博士前期課程では、教育目的を達成するために、修了後の進路に対応した以下のプログラムを設定します：①博士後期課程への進学に向けて研究基礎力を育成する看護科学プログラム、②専門看護師としての臨床実践能力を育成する高度実践看護プログラム、③高度な教育・実践能力を持つ助産師を育成する助産学プログラム。

博士後期課程への進学に向けて研究基礎力を育成する看護科学プログラムでは、筑波大学大学院学則で規定する課程の目的を踏まえ、看護科学の領域で、社会的学術的意義が高く、看護科学の発展に寄与できる研究を実践できるよう、以下の能力を育成

します。

- ① 科学的根拠に基づいて看護を探究し、実践する能力
- ② 看護科学の基礎になる専門知識と技術をもって看護を実践・教育する能力
- ③ 看護を学際的な視点から科学的に分析する能力
- ④ 豊かな感性と確かな倫理観に基づく看護の実践能力
- ⑤ 国際的な看護実践を志向する能力
- ⑥ 国際水準の看護研究の成果を自らの実践に活かす能力

専門看護師としての臨床実践能力を育成する高度実践看護プログラムでは、筑波大学大学院学則で規定する課程の目的を踏まえ、看護分野における高度専門職業人として十分な教育・実践能力を身に付けられるよう、特以下の能力を育成します。

- ① 科学的な根拠に基づいて看護を探究し、実践する能力
- ② 看護実践における高度な専門的知識・技術・実践能力
- ③ 学際的な視点で看護を科学的に分析する能力
- ④ 国際水準の看護実践を志向できる能力

高度な教育・実践能力を持つ助産師を育成する助産学プログラムでは、筑波大学大学院学則で規定する課程の目的を踏まえ、助産学分野における高度専門職業人として十分な教育・実践能力を身に付けられるよう、特以下の能力を育成します。

科学的根拠に基づいて助産を探究し、実践する能力

- ① 看護科学の基礎になる専門知識と技術をもって助産を研究・実践する能力
- ② 助産を学際的な視点から科学的に分析する能力
- ③ 豊かな感性と確かな倫理観に基づく助産の実践能力
- ④ 国際的な助産実践を志向する能力
- ⑤ 国際水準の助産研究の成果を自らの実践に活かす能力

### 3)看護科学学位プログラム博士後期課程の特色と教育目標

看護科学学位プログラム博士後期課程では、教育目的を達成するために、筑波大学

大学院学則で規定する課程の目的を踏まえて、看護科学の領域において博士の学位に相応しいだけの新規性、独創性と十分な学術的価値のある学位論文を提出できるよう、以下の能力を育成します。

- ① 看護実践の基盤になる科学的根拠を創出する研究能力
- ② 看護に関する高度な知識と技術力
- ③ 高度専門職者としての実践知に基づく教育・研究能力
- ④ 確かな倫理観と価値基準に裏付けられた研究能力
- ⑤ 国際水準の研究能力

## 2. 看護科学学位プログラムの沿革

### 1) 博士前期課程の沿革

平成 15 年度に筑波大学は、看護短期大学から看護・医療科学類として 4 年制大学になりました。平成 18 年度に看護・医療科学類が完成年度を迎えるにあたり、大学院進学を希望する学生の受け皿となり、専門性を高める看護の大学院として、また茨城県内の看護系大学生および看護師からの強いニーズに応えるため、平成 19 年 4 月に人間総合科学研究科に設置されました。

社会的なニーズに応えるために「人間の生物身体的・教育福祉的・精神文化的の 3 側面を視野に入れながら人間に関わる総合科学の確立を目標」としている筑波大学大学院人間総合科学研究科があります。その一専攻として設置された看護科学専攻は、従来の看護学が追求してきた「科学性」のみならず、看護学と他の融合可能な学問領域との学際融合を図り「人間の総合性」を「次代を担うエビデンスの思考に立つ新たな科学」の視点に立つ「専門性」を取り入れ、「実践看護学領域」「地域健康システム看護学領域」「環境看護学領域」の 3 領域で教育が始まりました。

看護においては人々の QOL の向上を目指した、より専門的な知識と高度な看護技術、科学的根拠に基づいた的確な判断力を有した高度専門職業人の育成が求められ、平成 22 年度から専門看護師教育課程に関する科目の開講を始めました。平成 23 年度には「がん看護」「精神看護」、平成 24 年度には「慢性看護」が、専門看護師教育課程として日本看護系大学協議会より認可を受けました。専門看護師教育においては、積極

的に e-learning を導入し、対面講義・演習との組み合わせにより、教育内容の拡充に努めてまいりました。また、平成 23 年度に専門看護師教育課程以外の科目についてのカリキュラム改正を行い、設置時の「実践看護科学領域」「地域健康システム看護学領域」「環境看護学領域」の 3 領域から、「実践看護学領域」「地域環境システム看護学領域」の 2 領域に再編しました。平成 26 年度より高度実践看護教育のさらなる充実を図り、「家族看護」の専門看護師教育課程を追加し、日本看護系大学協議会より「がん看護」「精神看護」「慢性看護」「家族看護」の 4 分野において専門看護師教育課程(38 単位)の認定を受けました。また同年より、学生の研究力と教育力を強化することを目指し、助産師教育課程を学士教育から大学院教育に移行し(文部科学省認定)助産師養成教育を提供しています。

平成 29 年度には、前期課程内に、修了後の進路に対応したプログラム：①博士後期課程への進学に向けて研究基礎力を育成する看護科学プログラム、②専門看護師としての臨床実践能力を育成する高度実践看護プログラム、③高度な教育・実践能力を持つ助産師を育成する助産学プログラムを設定し、運営を開始しています。令和元年度から 1 科目あたりの受講者数を増やし、学習の充実を図るため「実践看護学領域」「地域環境システム看護学領域」の 2 領域をなくし、看護科学として 1 つの専門領域にしました。

#### 人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 看護科学学位プログラムへの改変

令和2年度に筑波大学では大学院改革が行われ、8 研究科、85 専攻であった大学院は、3 学術院、6 研究群、56 学位プログラムより成る大学院に改変されました。人間総合科学研究科 看護科学専攻は、人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 看護科学学位プログラムとなりました。再編の目的は、各研究群では専任の教員を中心とした幅広い学問分野の教員が協働して学位プログラムの授業と研究指導を行うことにあります。また、学位授与時に学生が備えるべき知識・能力(コンピテンス)を、全額で共通の汎用カコンピテンスと、各学位プログラムに特有の専門カコンピテンスの双方から明確化し、その修得に向けた教育課程を編成しました。学生の達成度評価にあたっては、学会発表や論文作成、TA の経験やボランティア活動を含め、授業以外の活動も積極的に評価します。また学生が修了するまでに汎用カコンピテンスと専門カコンピテンスを修得できるよう、きめ細かな学修支援を行うことになりました。令和 2 年度は新型コロナウイルス感

染症の影響で、春学期は教育活動が制限されましたが、秋学期からは対面、オンラインを含めたハイブリッドの授業を行い充実することができました。

看護科学専攻は、令和 2 年度までに博士前期課程 188 名の学生を修了させました。看護科学学位プログラムとなった令和 3 年度は、新たに 11 名の学生が修了しました。修了生は、保健師、助産師、看護師、養護教諭あるいは大学教員として活躍し、成果をあげています。また 20 名の修了生が専門看護師試験に合格しています。

## 2)博士後期課程の沿革

国際的レベルの教育・研究の拠点となることを目的として、平成 13 年に「人間総合科学研究科」が開設され、この人間総合科学研究科に平成 19 年 4 月に看護科学専攻博士前期課程が、前期課程の開設に引き続き、平成 21 年 4 月に看護科学専攻博士後期課程が誕生しました。平成 26 年度からは、文部科学省「未来医療研究人材養成拠点形成事業」の中で地域基盤型高度実践看護師コースを開講し、博士後期課程における高度実践看護師の育成を開始しました。

令和 2 年度に行われた筑波大学大学院改革により、博士後期課程においても令和 2 年度より看護科学学位プログラムの入学生の受け入れを開始しました。

本専攻は平成 25 年度 3 月に初めて修了生が誕生し、博士(看護科学)が授与されました。博士(看護科学)の授与は、2 名の論文博士を含め、令和 3 年度 3 月までに計 44 名となり、日本のさまざまな保健分野で将来有望なリーダーとして活躍しています。

### 3. 看護科学学位プログラムの組織

#### 1) 教務委員会

庶務・履修（担当：大宮、カツマタ）

1. COVID-19 感染拡大に伴うカリキュラム・時間割の調整
2. R3 年度科目一覧の管理、R4 年度科目一覧作成依頼
3. R3 年度シラバスの管理、R4 年度シラバスの作成依頼及び内容確認、修正依頼
4. R3 年度既修得単位認定(なし)・学籍管理(副指導教員変更、研究生等)
5. R3 年度修了認定(前期・後期)用資料の作成
6. R4 年度大学院便覧・大学院スタンダードの確認
7. R4 年度時間割作成
8. R4 年度用学群生、科目等履修生一覧の管理
9. 学位プログラム達成度評価資料の作成及び内容確認

審査（担当：菅谷、牟田）

1. COVID-19 感染拡大に伴う審査体制の調整・会場運営
2. R3 年度研究計画書(前期・後期)審査委員会案の作成
3. R3 年度予備審査委員会(前期・後期)案の作成
4. R3 年度論文審査委員会(前期・後期)案の作成
5. R3 年度研究計画書(前期・後期)審査会・発表会の実施
6. R3 年度修士論文発表会(前期)の運営
7. R3 年度研究計画書(前期・後期)審査報告書の確認
8. R3 年度予備審査報告書(前期・後期)の確認
9. R3 年度論文審査報告書(前期・後期)の確認
10. R4 年度審査スケジュール(前期・後期)案の作成

渉外（担当：岡山、涌水）

1. COVID-19 感染拡大に伴う実習調整、実習生のワクチン接種の調整
2. 協力教員、非常勤講師、ゲストスピーカーに係る調整

3. 在校生オリエンテーションの企画・実施

4. インターンシップ、看護科学特別実習、CNS、助産実習、INFOSS 受講状況の確認・管理

指定規則の改定に伴う助産師課程カリキュラムの検討と文部科学省への変更申請  
(担当:岡山)

## 2)入試委員会

令和3年度の入試委員会の活動は、博士前期課程、博士後期課程の入学試験の実施とそれに伴う各種業務を遂行した。本専攻の入試実施体制のなかで、出題ミス予防に向けた基準等を遵守し、適正かつ公正である入学試験となるよう入学試験を実施した。

令和4年度入試は、本学のWebサイトに掲載している「新型コロナウイルス等の感染拡大防止に係る受験生の留意事項」及び「健康観察記録表(大学院入試用)」により、受験当日を含めた14日間の検温等を毎日記録した上で、それらの書面を試験場に持参してもらい、発熱等の状況を確認したうえで入学試験を行った。14日間の健康観察のなかで発熱・咳嗽等の症状があった場合には試験場での受験は実施できないため、受験者が追試験願いを申請後に追試験の許可が得られた場合には、オンラインで追試験を行った。入学試験の実施状況は以下の表のとおりである。

<令和4年度入学試験の実施状況>

### ● 博士前期課程

8月期入試 筆記試験 令和3年8月17日、口述試験 8月18日

2月期入試 筆記試験・口述試験 令和4年2月1日

			志願者数	受験者数	合格者数	外国人留学生内合格者数
募集人員 (15名)	8月期	一般	20	20	13	1
	入試	社会人	4	4	2	0

● 博士後期課程

8 月期入試 筆記試験、口述試験 令和 3 年 8 月 17 日

追試験 筆記試験、口述試験 令和 3 年 8 月 24 日

2 月期入試 筆記試験、口述試験 令和 4 年 2 月 1 日

		志願者数	受験者数	合格者数	外国人留学生内合格者数
募集人員 (8 名)	8 月期入試	3	3	3	0
	8 月期入試(追試験)	1	1	1	1
	2 月期入試	1	1	1	0

<その他の活動>

・留学を希望する外国人には、オンラインに於いて積極的に面接を実施した。

<次年度に向けた課題>

博士前期課程では募集人員に満たないため、次年度は受験者数の増加に向けて、ポスター、パンフレット、Web ページを通じて積極的に広報を行うことにより、看護科学学位プログラムのアドミッション・ポリシーに見合う志願者を集めることとする。博士前期課程では、本学の看護学類生の進学者数の増加を目的に、有効な広報活動等について検討する必要がある。また、博士後期課程では、研究者、教育者や高度看護実践者の育成を目的に、本学博士前期課程からの進学者を推奨するとともに、広報活動等についても検討したい。

### 3) 広報・情報委員会

■今年度の活動目標

1. 看護科学学位プログラムの入試について、ポスター、パンフレット、Web ページを通じて広報を展開する。
2. 看護科学学位プログラム関係者(授業担当教員および学生)の Web ページを通じての情報活用を支援する。

## ■活動状況

### <看護科学学位プログラムホームページの更新>

ホームページ(HP)日本語版および英語版の一部内容を修正し、外部者用・内部者用にそれぞれ内容を精査し、携帯端末でも見やすくなるように業者に依頼中である(2022年2月1日現在)。

### <入試説明会の開催>

2021年6月に対面での説明会を実施した。カリキュラムの説明、助産師養成の説明、入試に関する説明のほか、各研究室の紹介を手短に行った。

説明会で実施しているアンケートでは、入試情報の入手源はHPであるという回答の比率が高かったことから、現在改訂中のHPに随時情報をアップデートして掲載するように努めていく必要がある。

## ■目標の達成度、次年度に向けた課題

次年度以降、オンラインでの入試説明会の開催が想定されるのであれば、例年受験生の関心が比較的高いのが在校生メッセージであるので、研究室紹介動画は継続して作成していくのがよいと考えられる。また、看護学類からの進学希望者を積極的に開拓するために、指導教員の顔が見える口コミによる広報活動を各教員が地道に行っていくことが効果的であると思われる。

## ■目標の達成度、次年度に向けた課題

1. 学外への有効的な情報発信をおこなうため、引き続きHPの充実を図っていく。同時に看護学類の優秀な卒業生を確保し続けられるよう、各教員が内部学類生への勧誘と広報を強化していく。
2. 入試に関しては、次年度も事前予告情報を早めに流していく。在学生確保の重要度は高いので、定期的に在学生のメーリングリストにも働きかけていく。

#### 4)FD・自己点検評価委員会

本学位プログラムにおける FD 活動は、先駆的な看護研究及び教育を行なっている海外との学術協定校等との交流を通して、教員の教育力の向上と先進の取り組みを学ぶことにある。そのために海外の協定校との連携も深めながら、海外看護教員を招聘し、教育方法の改善に向けた FD コンサルテーション、研修会議等を実施している。

平成 29 年度～令和元年度には、は、高度看護実践看護者の育成と実践への起用、臨床と教育のコラボレーション、アクティブラーニングを取り入れた国際的交互性のある高度看護実践教育をキーワードとしたFDセミナーを開催し、専門看護師の育成や臨床看護の場との連携など、今後の教育の向上に向けた検討を行った。しかし、令和 2～3 年度は COVID-19 の感染拡大の影響により、オンサイトでの国際交流セミナーは開催できなかった。今年度は、筑波大学教育戦略推進プロジェクト「実践と科学を融合し看護科学研究を発展させる学際教育の展開」と連動させた FD セミナーを実施した。

また、論文指導や学位審査に関して、教育力・研究指導力向上を目指すことを目的とした FD 活動を実施している。今年度は上記プロジェクトと連動させた FD において、アクティブラーニングをテーマにしたセミナーを実施した。教員個人の能力を高めるとともに、教員間の共同認識をはかりながら、看護科学学位プログラムとしての教育力・研究指導力を高めるようにしている。

授業評価に関しては、全科目において実施し、学生からの評価を教員にフィードバックしている。昨年度からは全学共通の TWINS を用いたオンラインでの授業評価となり、担当教員へのフィードバックや他の科目との比較などがしやすくなった。また学生からの評価を元に、カリキュラムや授業内容の検討を行っている。

今後も、積極的に海外の提携大学ともつながりを深めていくとともに、教員の教育力の向上につながるような FD 活動の企画運営を進めていく。

#### 5)ICT・国際活動委員会

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の拡大により海外渡航原則禁止という状況から教職員や学生の海外派遣や海外留学が実施できない一年となった。しかしながら、オンライン会議システムの充実やその活用の日常化も進み、本学でも ICT を活用した e-

learning、国際セミナーなど数多く行われた。看護科学学位プログラムでも ICT を用いた FD 活動が活発に実施された年になった。

今年度は主催、共催を含めて 3 回のオンラインでの講演やカンファレンスを実施した。また、国際活動として台湾国立成功大学とのコラボレーションで、「COVID-19 禍における看護教育の進化：経験を分かち合う国際交流セッション」を実施し、招聘講師としてトゴバタラ・ガンチメグ助教がオンラインで講演を行った。加えて、本学で学ぶ留学生が卒後どのような活躍をしているかという事を知り、留学生の受け入れと教育を通じての国際貢献について学ぶセミナーを企画した。また、看護の学生の英語の能力向上についてのFDなども実施し、英語の試験の点数よりも活きた国際交流の体験や英語を使う機会の重要性再確認することができた。

現在も海外渡航に制限がある状態であるが、来年度も ICT を活用した学びの機会を作り、国際活動も行っていきたい。

(以下実施した企画)

2021 年 10 月 2 日(土) 10:15-10:55

ICT 国際活動委員会国際セミナー (看護科学学位プログラム FD 委員会共催)

スーパーグローバル大学として世界に影響を与える教育の実現プロセスを学ぶ

講師：アマルサナー・ガンヤダム氏(The Philanthropy Center for Children and Elderly Mongolia, Director)

2021 年 10 月 7 日(木) 8:30-12:00

Nursing Knowledge in Action: Exchange of Experience in Teaching Strategy of Evidence-Based Health Care Transnational Workshop

看護の知を実践に：エビデンスに基づくヘルスケアへ向けて国際的な意見交換を通じて教育戦略について学ぶ

2021 年 10 月 7 日(木曜日) 13:30-18:00

The Evolution of Nursing education during COVID-19: Sharing of Voices across countries

COVID-19 禍における看護教育の進化：経験を分かち合う国際交流セッション

2022 年 2 月 8 日 16:30-17:30

看護学類生の語学力向上と留学支援(オンライン開催)

講師：トーマス・メイヤーズ

2022 年 3 月 23 日(水)13:00 -14:30

令和 3 年度特別公開講座：「グローバルスタンダードの性教育 ～自分たちが今知りた  
い性のこと～」(筑波大学 DAC センター・日本医療政策機構共催にてオンライン開催)

講師：鈴木淳子氏(助産師、養護教諭、サニーすまいるアシスト代表)

#### 4. 看護科学学位プログラムの施設・設備

##### 施設設備委員会

施設・設備委員会は、4B 棟、共同利用棟 B および健康医科学イノベーション棟を中心とした研究教育環境の充実と管理運営、会議室やセミナー室など専攻に関わる諸室の調整と有効活用を目標として活動している。

##### ■本年度の施設・設備の整備状況

看護科学専攻大学院生および教員に関連する医学医療系の取り組みとして以下のものがあげられる。

- 1.研究室について、使用状況、院生数等を考慮した配置・運用の見直し、整備を行った。
- 2.共同利用棟 B の無線 Lan 配備が終了した。
- 3.共同利用棟 B 講義室の消耗品の劣化(椅子のキャスター)について対処・整備した。

##### ■今後の課題

- 1.附属病院 B 棟の耐震改修工事が始まり、2023 年 10 月までかかる予定になっている。それに関連して、附属病院への動線が何度か制限・変更される見込みであるので引き続き注意を呼び掛けていく。

2.4D 棟及び 4C 棟の耐用年数は 20 年程度のため、2024 年、2026 年には使用することが難しくなることが考えられ、引き続き検討されることになっている。

3. セミナー室など予約スペースの適正な利用を促進し、看護科学専攻の教育・研究環境が安全に保ち充実するよう努める。

4. 共同利用棟 B 講義室の椅子や机等消耗品の老朽化が進んでいるため、適宜交換等引き続き行っていく。

## Ⅱ. 教育活動

### 1. 教育内容及び方法

R2 年 4 月より、改組前の看護科学専攻を母体とした「看護科学学位プログラム」が開設され、その教育理念のもとに組み立てられたカリキュラムを実施してきた。博士前期課程は R4 年 3 月をもって、その完成年度を迎えた。

本学位プログラム(博士前期課程)では、看護科学の領域で扱われる課題で研究を行う研究者の養成を目指している。また、専門看護師や助産師の資格取得を目指す高度専門職者の養成課程も提供している。科学的根拠に基づいた探究力、専門領域における実践力、看護の学際性、看護の感性と倫理観、国際通用性を目指す実践力を学生に修得させることで、看護実践の基礎になる専門知識・技術・実践能力を備えた看護職者を養成している。学生の達成度は、修士論文あるいは特定の課題研究(看護実践に活用できるエビデンスについての検討、あるいは、エビデンスに基づいた実践内容の評価について、研究として系統的にまとめられた成果物)のほか、学位プログラムが定めたコンピテンスに基づく達成度評価と合わせて最終的に評価している。

本学位プログラム(博士後期課程)では、学際的および国際的な視点に基づき、看護学の高度専門職者、教育者、研究者、政策・行政分野の看護・医療の専門家として専門的知識、技術を有するに留まらず、常に研究マインドを持って看護実践を検証していくことのできる人材を、さらに、看護の専門領域だけではなく、「学際性」と「科学性」に基づく新しい看護の技術や教育・研究方法を開発できる人材を、養成している。学生の達成度は、

博士論文のほか、学位プログラムが定めたコンピテンスに基づく達成度評価と合わせて最終的に評価している。

カリキュラムの詳細は、授業科目一覧と各科目のシラバスを参照

## 2.教育の成果と教育の質の向上及び改善のためのシステム

＜本年度の学位論文のテーマ＞

### 看護科学専攻博士後期課程

**尾形 佑香**

統合失調症者のリハビリ尺度の開発

**豊増 佳子**

遠隔看護の実践に向けて看護基礎教育に求められるICT教育内容に関する研究

**内藤 紀代子**

可視化を特徴とする骨盤底筋体操のアニメーション指導媒体の開発と効果検証

**内藤 優子**

Development of Cambodian version of person-centered maternity care scale  
産婦を中心とした出産ケア尺度のカンボジア版の開発

**Parchaa Tsetsegmaa**

Impact of continuous support to a small group of women by midwifery students on women's childbirth experience in the public maternity hospital, Mongolia

(助産学生による継続的支援がモンゴル公立病院の産婦の出産体験に与える効果)

### 看護科学学位プログラム博士前期課程

**山本 絢子**

がん診療拠点病院に勤務する病棟看護師によるがんサバイバーへの運動支援の現状と関連要因

**市野沢 征子**

臨床看護師のバーンアウトに関連する要因の探索

**井上 康浩**

手術室看護師のコミュニケーション・スキルの特徴と専門職的自律性との関連

**大村 圭緒**

20歳代女性に対する磁気共鳴(MR)画像により作成した指導用動画を用いた骨盤底筋収縮指導の効果検証

**志摩 未来**

COVID-19流行下における妊娠後期の抑うつ傾向と心理社会的適応状態との関連

**西 将希**

訪問看護を利用する統合失調症者のリカバリーに関連する要因

**西村 舞**

20歳代前半女性の月経に伴う主観的ストレスと客観的ストレスとの関連—月経随伴症状および気分の状態と自律神経バランスおよびストレスホルモンの特徴—

**望月 梢絵**

保育所看護職のワーク・エンゲイジメントと関連要因の検討

**山崎 真依**

周産期における自閉症スペクトラムの傾向を持つ母親に対する助産師の支援

**WANG TONG**

在日中国人母親の育児におけるストレスと関連要因の検討

**GUO SHUAI**

慢性腎臓病による死亡の関連要因の検討—大規模コホート研究を用いた二次データ分析—

<コンピテンスの達成度評価>

前期課程 2年生 11名が、学位プログラムが定めるコンピテンスの達成度評価の全項目を達成して課程を修了した。

その他の在校生について、達成度の中間評価を確実に実施することが今後の課題である。

<FD 活動実績と今後の課題>

第 1 回 11 月 9 日(火)16:00～17:30

タイトル:国際共同研究に向けた基本的な知識を学ぶ

第一部「国際共同研究のプロセスについて」(30 分)

第二部「国際共同研究における研究倫理について」(30 分)

第三部「国際共同研究の実施に向けたディスカッション(助教のみ)」(30 分)

目的:国際共同研究を実施するために必要な基本的な知識について、若手教員を中心に学ぶことを目的とする。

講師:トコバタラ先生

主催:看護科学学位プログラム 共催:看護学類

第 2 回目 11 月 19 日(金)18:00～19:30

タイトル:学校におけるいじめ・自殺予防を考える～子どもたちの心のエンパワメント～

内容:学校におけるいじめ、自殺予防、メンター、リバースメンターなど

講師:太刀川弘和 先生(筑波大学医学医療 臨床医学域災害・地域精神医学 教授)

会場:Zoom を用いた遠隔配信、その後のビデオ配信あり

主催:看護学類 共催:看護科学学位プログラム、みらいエンパワメントカフェ

第 3 回目 11 月 24 日(水)17:30～19:00

タイトル:アクティブラーニングを実践するための課題

参加者:看護科学学位プログラム教員、「看護学教育」受講者(博士後期課程 1 年生)

目的:アクティブ・ラーニングを実践・強化していくために解決すべき現在の課題を、討議によって明らかにする。

事前学習:以下のオンデマンド教材を視聴する。東京大学ファカルティ・ディベロップメント | プログラム | インタラクティブ・ティーチング | 受講方法 (utokyofd.com)

<https://www.utokyofd.com/mooc/attend>

主催：看護科学学位プログラム 共催：看護学類、医学群

第 4 回目 2 月 8 日(火)16:30～17:30

タイトル：看護学類生の語学力向上と留学支援方法について

講師：Thomas Mayers 先生(筑波大学)

主催：看護学類 共催：看護科学学位プログラム、ICT 国際活動委員会

第 5 回目 2 月 28 日(月)16:00～17:30

タイトル：国際オンラインカンファレンス～国際共同研究の足掛かりをつかむ～

内容師：タイのタマサート大学の看護学科の教員と看護科学学位プログラム教員とのオンラインカンファレンス、国際共同研究の足がかりをつかむための情報共有

主催：看護科学教育戦略プロジェクト 共催：看護科学学位プログラム FD 委員会

令和 3 年度は FD 委員会主催のセミナーを 2 回、共催のセミナーを 2 回開催した。今年度は、筑波大学教育戦略推進プロジェクト「実践と科学を融合し看護科学研究を発展させる学際教育の展開」と連動させた FD セミナーを中心に実施した。第 1 回目のセミナーでは、国際共同研究の全体的な流れについて、研究計画を立てる上での注意点、共同研究者の見つけ方や、計画を実施していくための調整方法、実施する上での注意する点、特に国際共同研究における研究倫理に焦点を当て、他国との倫理調整や、共同研究者との役割の分担など、国際共同研究だからこそ必要になる、研究倫理の知識についての講義を行った。また、講義で得られた知識をふまえて、国際共同研究を実施することへの考えや、どのようなことができるかなど、助教でディスカッションを行い、今後の国際共同研究の実施に向けた示唆を得た。

また、筑波大学教育戦略推進プロジェクトと連動させた FD において、アクティブラーニングをテーマにしたセミナーを実施した。事前学習を踏まえた上でのオンサイト研修であり、アクティブラーニング手法を体験する形式のセミナーとなり、参加者の学習効果が高まったといえる。当日のグループワークでは、グループを分ける際の工夫や配慮、活発なワークを生み出す工夫、評価の困難さなどが話し合われた。また、効果的なファシリテーション

方法、オンラインで実施する際の工夫点、評価方法など今後の課題も示された。これらの内容は、引き続きプロジェクトと連動させながらFD活動として実施していくこととなった。

授業評価に関しては、昨年度からはTWINSを用いたオンラインでの実施とした。全科目において実施しており、学生からの評価を分析することができた。

今後も、積極的に海外との提携大学ともつながりを深めていくとともに、教員の教育力の向上につながるようなFD活動の企画運営を進めていくことが課題である。

### 3. 大学院教務・看護科学事務の支援体制

看護科学専攻・学位プログラムは、大学院教務ならびに看護科学事務から学生に対してさまざまな支援を受けている。主な支援内容を下記にまとめる。

#### <大学院教務の学生に関する主な支援業務>

1. 看護科学学位プログラムの入学試験
2. 学位記授与式,新入生オリエンテーション
3. 大学院生のTA関係業務
4. 外部資金申請関係(文科省等)
5. 学生の派遣・受け入れ関係
6. 非正規性受入れ関係(科目等履修生,研究生)
7. 成績管理関係
8. 非常勤講師関係
9. 学籍異動関係
10. 授業料債権関係
11. 学外実習関係
12. 専修免許関係
13. 調査・統計関係

#### <看護科学事務の学生に関する主な業務>

1. 相談対応
2. 入学時オリエンテーション準備

3. 提出物等の受取
4. 郵便物の配布
5. 授業教室の予約
6. 教室予約受付・管理
7. 令和3年度共同利用棟 B103・106・107・204・205・206・207
8. ロッカーキーの貸出・管理
9. 印刷機、備品の管理
10. 消耗品(トナー、インク、用紙)の交換
11. TA 任用、管理
12. メール配信:ほとんどが大学院教務,学生支援からの依頼による学生へメール配信
13. 各発表会、審査会サポート
14. 入試の準備・手伝い
15. 学位記授与式の準備・手伝い
16. 予算管理

### Ⅲ. 研究活動

#### 1. 教員・学生の個人業績

※教員の個人業績については TRIOS 参照

<http://www.trios.tsukuba.ac.jp/scripts/websearch/index.htm>

#### A. ウィメンズヘルス看護学、母性看護学・助産学研究グループ

- 教授            岡山久代
- 准教授        川野亜津子
- 助教           金澤悠喜

□看護科学専攻 博士後期課程 3年 内藤紀代子

<論文>

- 1) Daisuke Tawara, Tomohiro Nishiki, Sanae Ninomiya, Hisayo Okayama, Kiyoko Naito, Shigehiro Morikawa. (2021). Development of primary design guidelines for supportive underwear to elevate the bladder neck in women based on finite element analysis of the pelvis. Proc Inst Mech Eng H. 236(2)269-278.
- 2) 内藤紀代子, 二宮早苗, 森川茂廣, 遠藤善裕, 岡山久代. (2021). 磁気共鳴 (MR)画像により作成した指導用動画を用いた産後女性に対する骨盤底筋体操の効果検証. 看護理工学会誌.(8)194-202.

<学会発表>

- 1) Kiyoko Naito, Hisayo Okayama, Yoko Furukawa. (2021). Comparison of maximum pelvic floor muscle strength using different pelvic floor muscle training methods. 32<sup>nd</sup> International Confederation of Midwives Virtual Congress ( ICM ). Online, Indonesia.
- 2) 内藤紀代子, 二宮早苗, 森川茂廣, 遠藤善裕, 齋藤祥乃, 岡山久代. (2021). 骨盤底の機能評価における骨盤底筋トレーニング装置 Hnj1000 の妥当性の検討. 第9回看護理工学会. オンライン, 日本.
- 3) 壹岐聡恵, 志摩未来, 大村圭緒, 河上彩, 平田珠梨, 内藤紀代子, 浅野美礼, 岡山久代. (2021).専用ナプキンを分析装置に入れるタイプの非侵襲的排泄センサシステムに対する小児科看護師のニーズ. 第9回看護理工学会学術集会. オンライン, 日本.
- 4) 和田秋花, 浅野美礼, 寺澤瑛利子, 青木真希子, 内藤紀代子, 今野和穂, 海野多栄子, 岡山久代. (2021). ファントムを用いた会陰保護実施時の会陰にかかる圧力・せん断力の経時的測定方法の検討. 第9回看護理工学会学術集会. オンライン, 日本.
- 5) 二宮早苗, 内藤紀代子, 森川茂廣, 遠藤善裕, 岡山久代. (2021).骨盤底筋群に作用する姿勢による尿失禁改善効果の検証：随意収縮ができなくて

も骨盤底筋群を強化できる方法の確立に向けて. 第 9 回看護理工学会学術集会. オンライン, 日本.

- 6) 内藤紀代子, 古川洋子, 猪飼七子. (2021). 大学生の考える「現在の育児環境問題と必要な対策」の分析 ～プレコンセプションケアに向けた若者の意識探索～. 第 52 回 滋賀県公衆衛生学会, オンライン, 日本.

<競争的資金獲得状況>

- 1) 内藤紀代子. (分担者: 二宮早苗, 斎藤祥乃, 遠藤善裕, 森川茂廣, 岡山久代). 2019～2022 年度, 基盤研究 C. 画像工学技術を用いて骨盤内を可視化した骨盤底筋訓練用動画の開発と効果検証.
- 2) 古川洋子. (分担者: 野田正人, 内藤紀代子, 板谷裕美). 2018～2022 年度, 基盤研究 C. 児童自立支援施設に併設された学校における性に関する健康教育プログラムの開発.
- 3) 岡山久代. (分担者: 浅野美礼, 松崎一葉, 青木真希子, 内藤紀代子). 2021～2024 年度, 基盤研究 C. 自律神経バランスと高次脳機能評価による性周期に伴う心身の変調の多角的可視化.
- 4) 二宮早苗. (分担者: 内藤紀代子, 斎藤祥乃, 岡山久代). 2021～2024 年度, 基盤研究 C. 横断・縦断調査による成人女性の下部尿路症状(LUTS)の実態とリスク因子の解明.
- 5) 古川洋子, 猪飼七子, 内藤紀代子. 2021～2023 年度, 地域共生型社会推進事業助成. 世代を超えてのプレコンセプションケア事業.
- 6) 内藤紀代子. 2020～2022 年度, 環びわ湖大学・地域コンソーシアム事業助成. 課題: 大学生による子どもたちへの性犯罪予防の SNS の使い方. 啓発活動.

<講演会>

- 1) 内藤紀代子. (2021). 滋賀県栗東市学童保育所指導員への講演会「救急処置法」
- 2) 内藤紀代子. (2021). 滋賀県立彦根東高等学校性教育保健指導講演会「性と生を考える」

- 3) 内藤紀代子. (2021). 滋賀県立能登川高等学校性教育講演会「心が生きる  
＝性について」

<研修会の講演>

- 1) 内藤紀代子. (2021). 公認スポーツ施設管理士養成講座講師「スポーツ救急手当」
- 2) 内藤紀代子. (2021). 近江八幡市八幡東中学校健康フォーラム研修会講師  
「ネットにふりまわされない ネットを賢く使う」
- 3) 内藤紀代子. (2021). 滋賀県保育士キャリアアップ研修会講師「保育の場  
において血液を介して感染する病気を防止するためのガイドライン」
- 4) 内藤紀代子. (2021). 滋賀県保育士キャリアアップ研修会講師「保育所に  
おける感染症対策ガイドライン」

<出前講義>

- 1) 内藤紀代子. (2021). ライフスキル. 滋賀学園高等学校 2 年生
- 2) 内藤紀代子. (2021). ライフスキル. 滋賀県立日野高等学校 3 年生
- 3) 内藤紀代子. (2021). ライフスキル. 東近江市立朝桜中学校 2 年生
- 4) 内藤紀代子. (2021). ライフスキル. 滋賀県立能登川高等学 1 年生
- 5) 内藤紀代子. (2021). 自分の心身の健康を守る方法. 滋賀県立能登川高等学  
校定時制全学年
- 6) 内藤紀代子. (2022). 正しいネットの使い方. 滋賀県立八幡工業高等学校 2  
年生
- 7) 内藤紀代子. (2022). ネット・SNS の賢い使い方. 滋賀県立日野高等学校 1  
年生

<公的な委員会>

- 1) 看護理工学会評議員、同学会広報委員会委員
- 2) 日本思春期学会性教育委員会委員
- 3) 滋賀県助産師会第三地区支部長、同学会教育委員会委員
- 4) 滋賀県思春期教育研究会理事

□看護科学学位プログラム 博士後期課程2年 海野多栄子

<学会発表>

- 1) 寺澤瑛利子, 西村舞, 海野多栄子, 今野和穂, 青木真希子, 所恭子, 浅野美礼, 岡山久代. (2021). 自律神経バランス推定値と妊産婦のストレス状態との関連性評価. 第9回看護理工学会学術集会. オンライン, 日本.
- 2) 和田秋花, 浅野美礼, 寺澤瑛利子, 青木真希子, 内藤紀代子, 今野和穂, 海野多栄子, 岡山久代. (2021). ファントムを用いた会陰保護実施時の会陰にかかる圧力・せん断力の経時的測定方法の検討. 第9回看護理工学会学術集会. オンライン, 日本.

□看護科学学位プログラム 博士後期課程2年 今野和穂

<学会発表>

- 1) 寺澤瑛利子, 西村舞, 海野多栄子, 今野和穂, 青木真希子, 所恭子, 浅野美礼, 岡山久代. (2021). 自律神経バランス推定値と妊産婦のストレス状態との関連性評価. 第9回看護理工学会学術集会. オンライン, 日本.
- 2) 和田秋花, 浅野美礼, 寺澤瑛利子, 青木真希子, 内藤紀代子, 今野和穂, 海野多栄子, 岡山久代. (2021). ファントムを用いた会陰保護実施時の会陰にかかる圧力・せん断力の経時的測定方法の検討. 第9回看護理工学会学術集会. オンライン, 日本.
- 3) Kazuho Konno, Naoko Shioura. (2021). Interview with Japanese advanced-midwives looking at characteristics and conditions of mothers who give birth in their 40's and care postpartum. 32<sup>nd</sup> International Confederation of Midwives Virtual Congress( ICM ). Online, Indonesia.

<研修会の講演>

- 1) 今野和穂. (2021).日本更年期と加齢のヘルスケア学会 オンライン研修会「現代女性における高齢出産と更年期の捉え方」
- 2) 今野和穂. (2021). 日本更年期と加齢のヘルスケア学会 神奈川支部第117回研修会「女性のヘルスケアー産後うつと更年期一」

< 出前講義 >

- 1) 今野和穂. (2021). 新生児の看護～母乳育児支援～. 東京都立第四商業高校 2 年生, 3 年生

< 社会活動 >

- 1) 東京都中央区健康チェック ママの健康チェック プレ更年期担当

< 公的な委員会 >

- 1) 更年期と加齢のヘルスケア学会幹事

□看護科学学位プログラム 博士後期課程 1 年 壹岐聡恵

< 学会発表 >

- 1) Satoe Iki, Rie Wakimizu, Noriko Ozawa, Hisayo Okayama. (2021). Experiences of primary caregivers who rear children with SMID (severe motor and intellectual disabilities) and of siblings during the transition from hospital care to home care. 30<sup>th</sup> World Nursing Care Congress. Online.
- 2) 壹岐聡恵, 志摩未来, 大村圭緒, 河上彩, 平田珠梨, 内藤紀代子, 浅野美礼, 岡山久代. (2021). 専用ナプキンを分析装置に入れるタイプの非侵襲的排泄センサシステムに対する小児看護師のニーズ. 第 9 回看護理工学会学術集会. オンライン. 日本.
- 3) 志摩未来, 壹岐聡恵, 塩見咲良, 河上彩, 野口百菜, 龜山千里. (2021). 専用センサをおむつに装着するタイプの非侵襲的排泄センサシステム案に対する小児科看護師のニーズ. 第 9 回看護理工学会学術集会. オンライン. 日本.

□看護科学学位プログラム 博士後期課程 1 年 寺澤瑛利子

< 学会発表 >

- 1) 寺澤瑛利子, 西村舞, 海野多栄子, 今野和穂, 青木真希子, 所恭子, 浅野美礼, 岡山久代(2021). 自律神経バランス推定値と妊産婦のストレス状態との関連性評価. 第 9 回看護理工学会学術集会. オンライン, 日本.

- 2) 和田秋花, 浅野美礼, 寺澤瑛利子, 青木真希子, 内藤紀代子, 今野和穂, 海野多栄子, 岡山久代.(2021). ファントムを用いた会陰保護実施時の会陰にかかる圧力・せん断力の経時的測定方法の検討. 第9回看護理工学会学術集会. オンライン, 日本.
- 3) Eriko Terasawa, Hisayo Okayama.(2021).The association between the depressive tendencies of mothers with infants after the first month of life and their feelings toward their children. 14 Congress of the European, Society of Gynecology. Online, Venezia.
- 4) 安宅和佳奈, 池田歩美, 寺澤瑛利子, 中嶋真弓, 白根みゆき, 根本清貴, 小島真奈, 濱田洋実. (2021). 産後2週間健診を受診する褥婦の傾向と助産ケアの方向性について. 第17回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会. オンライン, 日本.
- 5) 寺澤瑛利子, 岡山久代.(2022). 生後1か月以降の乳児を持つ母親における抑うつ傾向の評価 二項目質問票の有用性の検討. 第36回日本助産学会学術集会. オンライン, 日本.

**□看護科学学位プログラム 博士前期課程2年 大村圭緒**

<学会発表>

- 1) 壹岐聡恵, 志摩未来, 大村圭緒, 河上彩, 平田珠梨, 内藤紀代子, 浅野美礼, 岡山久代. (2021). 専用ナプキンを分析装置に入れるタイプの非侵襲的排泄センサシステムに対する小児科看護師のニーズ. 第9回看護理工学会学術集会. オンライン, 日本.

**□看護科学学位プログラム 博士前期課程2年 志摩未来**

<学会発表>

- 1) 志摩未来, 壹岐聡恵, 塩見咲良, 河上彩, 野口百菜, 龜山千里, 浅野美礼, 岡山久代.(2021).専用センサをおむつに装着するタイプの非侵襲的排泄

センサシステムに対する小児看護師のニーズ. 第 9 回看護理工学会学術集会. オンライン, 日本.

- 2) 壹岐聡恵, 志摩未来, 大村圭緒, 河上彩, 平田珠梨, 内藤紀代子, 浅野美礼, 岡山久代.(2021). 専用ナプキンを分析装置に入れるタイプの非侵襲的排泄センサシステムに対する小児科看護師のニーズ.第 9 回看護理工学会学術集会. オンライン, 日本.

#### □看護科学学位プログラム 博士前期課程 2 年 西村舞

<学会発表>

- 1) 寺澤瑛利子, 西村舞, 海野多栄子, 今野和穂, 青木真希子, 所恭子, 浅野美礼, 岡山久代.(2021).自律神経バランス推定値と妊産婦のストレス状態との関連性評価. 第 9 回看護理工学会学術集会. オンライン, 日本.

#### □看護科学学位プログラム 博士前期課程 2 年 山崎真依

<論文>

- 1) Kanazawa Yuki, Yamazaki Mai.(2021). Survey of Support for Pregnant and Puerperal Women with Developmental Disabilities. Journal of Maternity Care and Reproductive Health 4(3), 257-268.

<学会発表>

- 1) 山崎真依, 川野亜津子, 金澤悠喜.(2021). ASD の母親とそれを支援する助産師の現状と課題についての文献検討. 第 62 回日本母性衛生学会総会・学術集会. オンライン, 日本.

#### □看護科学学位プログラム 博士前期課程 1 年 宇佐美絵理

<学会発表>

- 1) 宇佐美絵理, 金澤悠喜, 川野亜津子.(2021).産後 1 年未満における父親の抑うつ状態と関連要因に関する文献検討. 第 62 回日本母性衛生学会総会・学術集会. オンライン, 日本.

- 2) 川野亜津子, 宇佐美絵理, 山海千保子, 金澤悠喜.(2021). 産後うつバイオマーカーとしてのオキシトシンの有用性に関する研究の動向. 第62回日本母性衛生学会総会・学術集会. オンライン, 日本.

□看護科学学位プログラム 博士前期課程1年 塩見咲良

<学会発表>

- 1) 塩見咲良, 浅野美礼, 岡山久代.(2020).妊娠中に着用する靴に関する研究の動向と課題.第9回看護理工学会学術集会. オンライン, 日本.
- 2) 志摩未来, 壹岐聡恵, 塩見咲良, 河上彩, 野口百菜, 龜山千里, 浅野美礼, 岡山久代.(2021).専用センサをおむつに装着するタイプの非侵襲的排泄センサシステムに対する小児看護師のニーズ.第9回看護理工学会学術集会. オンライン, 日本.

□看護科学学位プログラム 博士前期課程1年 平城諒子

□看護科学学位プログラム 博士前期課程1年 荏原綾子

B. 発達支援看護学研究グループ

■准教授 涌水理恵

□看護科学学位プログラム 博士後期課程2年 齋藤佑見子

<論文>

- 1) Wakimizu Rie, Saito Yumiko, Saito Makoto. (2021). Experiences and Countermeasures of a Perinatal Ward Nursing Manager Dealing with Family Members' Problematic Behaviors. Open Journal of Nursing, 11, 981-1001.
- 2) 齋藤佑見子, 涌水理恵.(2022). 新生児集中治療室(NICU)におけるEnd-of-Lifeケアの概念分析. 日本看護科学会誌 (印刷中)
- 3) Wakimizu, Rie., Kuwahara, Hinako., Saito, Yumiko., Saito, Makoto. (2022).

Development of a Training Textbook for Countermeasures to “Verbal Abuse, Physical Assault, and Harassment in Pediatric Medical Settings”. Health ( in press)

<学会発表>

- 1) 齋藤佑見子, 涌水理恵. (2021). 新生児集中治療室 (NICU) における End-of-Life ケアの概念分析. 第 41 回日本看護科学学会学術集会 (一般演題 07-01).

<競争的資金獲得状況>

- 1) 公益信託 山路ふみ子専門看護教育研究助成基金. (2021). 「新生児集中治療室 (NICU) 看護者に対する End-of-Life 家族支援教育プログラムの開発」研究  
代表者:齋藤佑見子

<社会活動>

- 1) 東京情報大学 看護学部看護学科 非常勤講師 (家族看護学)

□看護科学学位プログラム 博士前期課程 2 年 望月梢絵

<論文>

- 1) 涌水理恵, 齋藤佑見子, 望月梢絵, 黒木春郎. (2021). 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 拡大状況下で小児科クリニックをかかりつけ医とする子どもの主養育者のオンライン診療に対する意識調査. 日本看護研究学会雑誌, 44 (1), 25-38.
- 2) 涌水理恵, 本田順子, 小林京子, 望月梢絵, 後藤あゆみ, 平田美佳: 保育園・幼稚園を対象とした COVID-19 感染予防に関するアクションリストの作成. 外来小児科. 25 巻 1 号. 2022 (印刷中).
- 3) 本田順子, 涌水理恵, 小林京子, 平田美佳, 後藤あゆみ, 望月梢絵: 保育園・幼稚園を対象とした COVID-19 感染予防に関するアクションリストの実装に向けて. 外来小児科. 25 巻 1 号. 2022 (印刷中).

<学会発表>

- 1) 本田順子, 涌水理恵, 小林京子, 平田美佳, 壹岐聡恵, 後藤あゆみ, 望月梢絵. (2020). 保育園・幼稚園における新型コロナ感染症対策アクションリスト作成の検討. 第 40 回日本看護科学学会学術集会 (一般演題 022-06).

- 2) 本田 順子, 涌水 理恵, 小林 京子, 平田 美佳, 後藤あゆみ, 望月 梢絵.  
(2021). 保育園・幼稚園を対象とした新型コロナウイルス感染症予防に関するアクションリスト  
の実装に向けて. 第 41 回日本看護科学学会学術集会 (一般演題 JS4-04).

<競争的資金獲得状況>

- 1) 公益財団法人フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団. (2021). 「保育  
所看護職のワーク・エンゲイジメントにおける関連要因の検討」. 研究代表者: 望月  
梢絵

<社会活動>

- 1) 東京未来大学 こども心理学科 非常勤講師 (子どもの健康と安全)

□看護科学学位プログラム 博士前期課程 2 年 Wang Tang

□看護科学学位プログラム 博士前期課程 1 年 佐々木啓太

<学会発表>

- 1) 涌水理恵, 三木明子, 佐々木啓太, 吉本光希. (2021), 小児科外来における家  
族対応を考えよう. 第 30 回日本外来小児科学会年次集会 (WS7).

□看護科学学位プログラム 博士前期課程 1 年 吉本光希

- 1) 涌水理恵, 三木明子, 佐々木啓太, 吉本光希. (2021), 小児科外来における家  
族対応を考えよう. 第 30 回日本外来小児科学会年次集会 (WS7).

<社会活動>

- 1) 東京未来大学 こども心理学科 非常勤講師 (子どもの健康と安全)

C. がん看護・緩和ケア研究グループ

- ・教授 水野道代
- ・助教 牟田理恵子
- ・助教 小澤典子
- ・助教 山下美智代

・看護科学専攻 博士後期課程 3年 Umami Pratiwi Rimayanti

□看護科学専攻 博士後期課程 3年 曾冬艶

□看護科学学位プログラム 博士後期課程 1年 阿部愛子

<論文>

1) 大橋幸恵, 相澤美里, 阿部愛子, 遠藤昭美, 桑名諒, 三上千佳子, 高橋和子, 霜山真, 横山佳世, 竹本由香里, 後上亜友美, 塩野悦子, 菅原よしえ(2021). 新型コロナウイルス感染症軽症者宿泊療養施設における支援活動の報告. 宮城大学研究ジャーナル 1(2), 142-151.

<学会発表>

1) 阿部愛子. 看護実践におけるがん終末期の倫理的ジレンマ;概念分析. 第36回日本がん看護学会学術集会, 2022年2月19日/20日, 神奈川, 日本(現地開催+Web開催)

<社会活動>

1) 看護師のためのエンド・オブ・ライフケア研修 in 宮城大学 運営・講師. 2021年8月7日/8日/9月23日, 宮城(現地開催+Web開催).

□看護科学学位プログラム 博士後期課程 1年 成尾美樹

□看護科学学位プログラム 博士後期課程 1年 Chen Hong

□看護科学専攻 博士前期課程 2年 丸山直美

□看護科学学位プログラム 博士前期課 2年 山本絢子

D. 国際発達ケア:エンパワメント科学研究室

■教授 安梅勅江

□看護科学専攻 博士後期課程 3年 厚澤博美

□看護科学専攻 博士後期課程 3年 松本宗賢

<論文>

- 1) Zhu, Z., Tanaka, E., Tomisaki, E., Watanabe, T., Sawada, Y., Li, X., Jiao, D. D., Ajmal, A., Matsumoto, M., Zhu, Y. T., & Anme, T. (2021). Do it yourself: The role of early self-care ability in social skills in Japanese preschool settings. *School Psychology International*, DOI: 10.1177/01430343211063211
- 2) Zhu, Y. T., Li, X., Jiao, D. D., Tanaka, E., Tomisaki, E., Watanabe, T., Sawada, Y., Zhu, Z., Ajmal, A., Matsumoto, M., & Anme, T. (2021). Development of social skills in kindergarten: A latent class growth modeling approach. *Children*, 8(10), [870].
- 3) Xiang Li, Dandan Jiao, Munenori Matsumoto, Yantong Zhu, Jinrui Zhang, Zhu Zhu, Yang Liu, Mingyu Cui, Yanlin Wang, Meiling Qian, Ammara Ajmal, Alpona Afsari Banu, Yolanda Graça, Emiko Tanaka, Taeko Watanabe, Yuko Sawada, Etsuko Tomisaki & Tokie Anme (2022). Home environment and social skills of Japanese preschool children pre- and post-COVID-19, *Early Child Development and Care*, DOI: 10.1080/03004430.2021.2021896

#### E. 地域健康・公衆衛生看護学、精神保健看護学研究グループ

■教授 山海知子

■准教授 大宮朋子

■助教 菅谷智一

■助教 出口奈緒子

□看護科学学位プログラム 博士後期課程 2年 工藤 あずさ

<論文>

- 1) 西将希, 工藤あずさ, 菅谷智一, 森千鶴. (2021). 高校生における精神障害者に対する態度への関連要因. 看護教育研究学会誌, 13(2), 27-35.

<学会発表>

- 1) Azusa Kudo, Masaki Nishi, Tomokazu Sugaya, Chizuru Mori. (2021). Thoughts and Impressions Toward Mental Disorders Among High School Students. Sigma Theta Tau International Honor Society of Nursing 32nd International Nursing Research Congress, virtual event.
- 2) 工藤あずさ, 菅谷智一, 森千鶴. (2021). 精神科看護師の患者に対する感情と感情調整能力の関連. 日本精神保健看護学会第31回学術集会, オンライン開催.

<その他>

- 1) 次世代研究者挑戦的研究プログラム採択

□看護科学学位プログラム 博士後期課程1年 清水 幹子

<専門誌寄稿>

- 1) 清水幹子, 山田彩季, 田中佳子, 渡辺大地(2021) 両親学級のオンライン化, どうやっていますか?. 助産雑誌 7月号. 医学書院

<社会活動>

- 1) 公益社団法人、東京都助産師会、理事
- 2) 一般社団法人、ドゥーラ協会、ドゥーラ養成講座講師
- 3) 東京通信大学、非常勤講師(母性看護学Ⅰ,Ⅱ)
- 4) 母子保健研修センター助産師学校、非常勤講師
- 5) 日本赤十字社助産師学校、非常勤講師
- 6) 株式会社ママの素スーパーバイザー 助産師相談総括
- 7) 一般社団法人 東京府中 FM ラジオパーソナリティ[アイノカタチ.chu][矢島助産院チャンネル]
- 8) 女性セブン「フェムテックで可視化される「生理格差」生理用品が買えない女性も」取材記事掲載

- 9) 東京都小金井青年会議所主催「メディカルカフェ 2021、地域の医療者が今伝えた  
いこと」第2部,講演,2021年10月17日(オンライン開催)
- 10) 公益社団法人東京都助産師会、いいお産の日のイベント Have Fun! イベント開  
催者、2021年11月3日(オンライン開催)
- 11) 東京都立練馬東中学校,命の講話「思春期の身体と心の変化を学びながら、自己  
や他者を尊重し、命の尊さや大切にできる力を身につける」2021年11月12日(対  
面開催)
- 12) 東京都武蔵野市立桜野小学校、特別支援教室保護者学習会、講師 「発達障  
害と性～家庭でできる性教育～」2021年12月22日

#### □看護科学学位プログラム 博士後期課程1年 戸津 有美子

##### <論文>

- 1) 戸津有美子. (2021). 妊娠期にある女性のヘルスリテラシーの概念分析. 日本母  
子看護学会誌(掲載前)

##### <学会発表>

- 1) 戸津有美子, 渡邊香. (2021). 無痛分娩取り扱い施設に勤務する助産師の無痛  
分娩に関する学習機会の現状について; Web上質問紙調査. 第62回日本母性衛  
生学会・学術集会, オンライン開催
- 2) 渡邊香, 戸津有美子. (2021). 母子愛着形成の促進および産後うつを予防するた  
めの妊娠期の取り組みの評価. 第62回日本母性衛生学会・学術集会, オンライン  
開催
- 3) 戸津有美子, 渡邊香. (2021). 産褥期の外陰部痛を緩和する補助具の開発; U座  
改良版に関する試用後の質問紙自由記載内容の分析による効果の検討. 第36  
回日本助産学会学術集会, オンライン開催
- 4) 渡邊香, 戸津有美子. (2021). 産褥期の外陰部痛を緩和する補助具の開発; U座  
改良版に関する試用後質問紙調査による客観的評価. 第36回日本助産学会学  
術集会, オンライン開催
- 5) 渡邊香, 戸津有美子. (2021). 分娩時における分娩介助者の顔面への体液飛散

状況の分析；使用済みフェイスシールドの ATP ふき取り検査法．第 36 回日本助産学会学術集会，オンライン開催

<社会活動>

- 1) ハクゾウメディカル株式会社 第 1 回産科施設向け感染対策オンラインセミナー．網中眞由美監修，渡邊香，戸津有美子，丸杉伊世梨

□看護科学学位プログラム 博士前期課程 2 年 郭 帥

<学会発表>

- 1) 郭帥, 山海知子, 山岸良匡, 木原朋未, 磯博康, 玉腰暁子. (2021). 慢性腎臓病による死亡の危険因子の検討: JACC Study. 日本循環器予防学会第 57 回学術集会, オンライン開催

□看護科学学位プログラム 博士前期課程 2 年 西 将希

<論文>

- 1) 西将希, 工藤あずさ, 菅谷智一, 森千鶴. (2021). 高校生における精神障害者に対する態度への関連要因. 看護教育研究学会誌, 13(2), 27-35.

<競争的資金獲得状況>

- 1) 菅谷智一(分担者:西将希). 2021 年度, 公益財団法人 笹川保健財団研究助成(実態調査・研究支援).「訪問看護を利用する統合失調症者のリカバリーに関連する要因:横断的患者調査」

□看護科学学位プログラム 博士前期課程 1 年 葛谷 英寛

□看護科学学位プログラム 博士前期課程 1 年 宮崎 星

<論文>

- 1) Ogata, T., Murooka, M., Akashi, M., Ishitsuka, A., Miyazaki, A., Osawa, S., ... & Uehara, R. (2021). The period from prodromal fever onset to rash onset in laboratory-confirmed rubella cases: a cross-sectional study. BMC Infectious

Diseases, 21(1), 1-7.

#### □看護科学学位プログラム 博士前期課程 1年 矢ヶ部 未奈

##### <論文>

- 1) 矢ヶ部未奈, 菅谷智一, 佐藤みつ子, 氏家寿美子, 森千鶴. (2021). コロナ禍における看護大学生のメンタルヘルス・SNS 利用とコミュニケーション・スキル、自己開示傾向の関連. 看護教育研究学会誌, 13(2), 37-49.

##### <学会発表>

- 1) 矢ヶ部未奈, 菅谷智一, 佐藤みつ子, 氏家寿美子, 森千鶴. (2021). COVID-19 拡大防止に伴う看護大学生のコミュニケーション方法とメンタルヘルス. 日本看護研究学会第47回学術集会, オンライン開催.
- 2) 矢ヶ部未奈, 菅谷智一, 佐藤みつ子, 森千鶴. (2021). コロナ禍における看護大学生のコミュニケーションツール満足度とメンタルヘルスとの関連. 第15回看護教育研究学会学術集会, オンライン開催.

#### □看護科学学位プログラム 研究生 氏家 寿美子

##### <論文>

- 1) 矢ヶ部未奈, 菅谷智一, 佐藤みつ子, 氏家寿美子, 森千鶴. (2021). コロナ禍における看護大学生のメンタルヘルス・SNS 利用とコミュニケーション・スキル、自己開示傾向の関連. 看護教育研究学会誌, 13(2), 37-49.

##### <学会発表>

- 1) 矢ヶ部未奈, 菅谷智一, 佐藤みつ子, 氏家寿美子, 森千鶴. (2021). COVID-19 拡大防止に伴う看護大学生のコミュニケーション方法とメンタルヘルス. 日本看護研究学会第47回学術集会, オンライン開催.

#### F. 療養調整看護学研究グループ

■教授 日高紀久江

■准教授 浅野美礼

- 准教授 柴山大賀
- 助教 阿部吉樹
- 助教 萩野谷浩美

□看護科学専攻 博士後期課程 3年 前田昌哉

<学会発表>

- 1) 多田大樹, 荒木沙織, 前田昌哉, 阿部吉樹. (2021). 緊急ストーマ造設術を経験したクローン病患者への支援-看護師が抱く先入観に関する考察-. 第26回日本難病看護学会学術集会、熊本、日本. 発表日: 2021年7月17日

□看護科学専攻 博士後期課程 2年 中田えいみ

□看護科学学位プログラム 博士前期課程 2年 市野沢征子

□看護科学学位プログラム 博士前期課程 2年 井上康浩

□看護科学学位プログラム 博士前期課程 1年 饒 小妹

□看護科学学位プログラム 博士前期課程 1年 古田 敦子

#### G. 国際看護学研究グループ

- 教授 竹熊 カツマタ 麻子
- 助教 トゴバタラ・ガンチメゲ
- 助教 福澤 利江子
- 看護科学専攻 博士後期課程 3年 籠島 政江

<学会発表>

- 1) 籠島政江. (2021). 「高齢患者の療養生活に関わる看護師の意思決定支援」の概念分析. 第41回日本看護科学学会学術集会. 2021年12月4・5日

〈専門誌寄稿〉

- 1) 籠島政江. (2021). 多職種協働における連携調整力「多職種協働・連携におけるプロジェクト・マネジメントの考え方と実践ポイント」. ナースマネージャー, 23(4), 2-9.

□看護科学専攻 博士後期課程3年 Munguntuul Enkhbat

〈投稿論文〉

- 1) Munguntuul Enkhbat, Battogtokh Davaakhuu, Buyandelger Bayanmunkh. (2021). Innovative Approaches to Nursing Education Based on the Characteristics of the Z Generation. Journal of Health Science. ISBN 99929-81-31-8. Volume 17, 4 (60).

〈学会発表〉

- 1) Munguntuul Enkhbat, Ganchimeg Togoobaatar, Oyunchimeg Erdenee, Nyamdavaa Uugandavaa, Asako Takekuma Katsumata. Handwashing practice among children: Before and during the pandemic. 19 November 2021. The academic research conference on “Socio-Economic Development, Infrastructure Development and Green Development” Asian Development Bank, Oral presentation.
- 2) Munguntuul Enkhbat, Ganchimeg Togoobaatar, Oyunchimeg Erdenee, Nyamdavaa Uugandavaa, Asako Takekuma Katsumata. Hand washing education for primary school students. 23 November 2021. The IV Academic online. Forum of Mongolian Researchers in Japan, Oral presentation.

□看護科学専攻 博士後期課程3年 Tsetsegmaa Parch

〈投稿論文〉

- 1) Tsetsegmaa Parchaa, Ganchimeg Togoobaatar, Rieko Kishi Fukuzawa, Badamkhand Chunagsuren, Batbold Tseleejav, Naranbaatar Nyam, Asako Takekuma Katsumata. (2021). Translation and validation of the Mongolian

version of the Childbirth Experience Questionnaire. *Journal of Patient Experience*, 8. DOI: 10.1177/23743735211060636

〈学会発表〉

- 1) Ganchimeg Togoobaatar, Tsetsegmaa Parchaa, Rieko Kishi Fukuzawa, Badamkhand Chunagsuren, Sukhbat Batsuuri, Bulgan Gunteev, Keiko Sugimoto, Asako Katsumata Takekuma, Naranbaatar Nyam. (2021). Mongolian women`s experience of maternity care: a cross-sectional study. 2-30 June 2021. 32 International Confederation of Midwives (ICM) Virtual Triennial Congress, Oral presentation.

□看護科学専攻 博士後期課程3年 金城 一平

□看護科学専攻 博士後期課程3年 内藤 優子

〈学会発表〉

- 1) Yuko Takahashi. (2021). Cognitive interviewing on person-centered maternity care at public health facilities in Cambodia. The 12th International Graduate Students Conference on Population and Public Health Sciences. July 2021. Poster. Virtual (Bangkok, Thailand).
- 2) Yuko Takahashi. (2021). Effectiveness of respectful maternity care policies: case of JICA's humanized maternity care initiative. The 32nd International Confederation of Midwives (ICM) Virtual Triennial Congress. June 2021. Poster. Virtual (Bali, Indonesia).

〈総説その他〉

- 1) 高橋優子. (2021). 国と言語を超えた助産ケアの実体験. *助産雑誌*, 75(7), 540. 医学書院.
- 2) 高橋優子. (2021). 特集ガイドラインの改定内容を解説 ポジティブな出産体験のための推奨項目 56 推奨項目 34-35 産婦の自由な分娩体位. *助産雑誌* 75(6), 442-446. 医学書院.

<社会活動>

- 1) 淑徳大学 看護栄養学部 兼任講師(国際看護論)
- 2) 日本赤十字看護大学大学院 講演「カンボジアでの実践活動」.2021年12月.

<競争的資金>

- 1) 第31回 公益信託山路ふみ子専門看護教育研究助成基金 採択

□看護科学専攻 博士後期課程3年 中島 久美子

□看護科学専攻 博士後期課程3年 宮原 めぐみ

□看護科学学位プログラム 博士後期課程2年 見延 充美

<学会発表>

- 1) 飯倉充美. (2021). 大学生におけるスマートフォン依存症の概念分析. 第63回日本教育心理学会総会. 8月21日~30日. Web開催. 口頭(オンデマンド).
- 2) Atsumi Iikura, Haruka Tamura, Shohei Miyamoto. (2021). Mindfulness for nurses: A systematic review protocol. The 13<sup>th</sup> International Nursing Conference. 21, 22 Oct 2021. Poster. Poster. Virtual (Seoul, South Korea).

<競争的資金>

- 1) 飯倉充美. 2021~2022年度 研究活動スタート支援, 新人看護師のワーク・エンゲイジメントと強化方略の検討.
- 2) 小林美緒(分担者: 飯倉充美、高田大輔). 公益財団法人テルモ生命科学振興財団, 2021年度Ⅲ研究助成 患者の食事量計測デバイスと可視化システムの開発.

□看護科学学位プログラム 博士後期課程2年 Bolorchimeg Munkhbaatar

<投稿論文>

- 1) Ai Aoki, Togoobaatar Ganchimeg, Nyam Naranbaatar, Zuunnast, Khishigsuren, Lkagvasuren Gundegmaa, Shagdar Bat-Erdene, Bolorchimeg Munkhbaatar,

Rintaro Mori , Akihito Kikuchi , Hideaki Soya , Kiyoto Kasai , Kenji Takehara. (2021). Validation of the parent version of the strengths and difficulties questionnaire (SDQ) to screen mental health problems among school-age children in Mongolia. *Journal BMC Psychiatry*, 21(1), 218. doi: 10.1186/s12888-021-03218-x.

#### □看護科学学位プログラム 博士後期課程1年 椎葉 奈子

〈学会発表〉

- 1) Nami Shiiba, Keiko Sugimoto, Rieko Fukuzawa, Ganchimeg Togoobaatar, Asako Takekuma Katsumata. (2021). Perceived social support and depressive symptoms of foreign resident women before and after childbirth in Japan. The East Asian Forum of Nursing Scholars 2021 Virtual Conference. 15 April 2021. Poster. Virtual (Manila, Philippines).
- 2) Nami Shiiba, Keiko Sugimoto. (2021). A systematic review for bonding study in Japan. 32nd International Confederation of Midwives Virtual Triennial Congress. 2, 9, 16, 23, 30 June 2021. Poster. Virtual (Bali, Indonesia).
- 3) 椎葉奈子, 福澤利江子, 竹熊カツマタ麻子. (2021). COVID-19 流行下における外国にルーツをもつ在住者の国内現状 -新聞記事のレビュー-. 第5回日本国際看護学会学術集会. 9月4日. Web 開催. 口頭.
- 4) ラックチャンクンティ, 椎葉奈子, 杉本敬子, 福澤利江子, 入山美保. (2021). やさしい日本語版産後うつ尺度の作成. 第5回日本国際看護学会学術集会. 9月4日. Web 開催. 口頭.
- 5) 椎葉奈子, 山口寛子, 水谷浩子, 鬼木尚子, 中村貴之, 杉本敬子. (2021). やさしい日本語での防災講座の取り組みに関する活動報告. 第28回多文化間精神医学会学術総会. 11月12日, 13日. Web 開催. 口頭(オンデマンド).

〈競争的資金〉

- 1) 令和3年度筑波大学社会貢献プロジェクト 採択
- 2) 令和3年度海外留学支援事業(はばたけ!筑大生)「海外学会等参加支援プロ

グラム」 採択

- 3) 令和3年度海外留学支援事業(はばたけ!筑大生)「語学研修・海外研修参加支援プログラム」 採択

<社会活動>

- 1) 令和3年度筑波大学社会貢献プロジェクト 多国籍子育て支援「にほんごでおしゃべり！」
- 2) やさしい日本語(にほんご)で考(かんが)えましょう 地震(じしん)と防災(ぼうさい). 9月11日. web開催. 主催:多国籍子育て支援「にほんごでおしゃべり！」プロジェクトチーム 共催:一般財団法人つくば市国際交流協会

□看護科学学位プログラム 博士前期課程1年 加固 蒼一郎

<学会発表>

- 1) 加固 蒼一郎. (2022). モンゴルの公立小学校に通う児童のメンタルヘルス～大規模調査の二次分析と日蒙比較～. 日本健康相談活動学会第18回学術集会. 2月26日～3月21日. Web開催. 口頭.

H. 看護科学専攻

■専攻長 水野道代

□看護科学専攻 博士後期課程3年 田野将尊

<学会発表>

- 1) 松山妙子, 三浦由紀子, 藤村朗子, 田野将尊, 堀田昇吾. 看護基礎教育の臨地実習における看護技術到達度の理想と現実の差異—臨床指導者と看護大学教員との比較—. 第41回日本看護科学学会学術集会, 2021年12月4日/5日, 愛知 (Web開催).
- 2) 三浦由紀子, 松山妙子, 田野将尊, 藤村朗子, 堀田昇吾. 看護基礎教育の演習及び臨地実習における看護技術到達度の現実—看護大学教員と学生

の比較－. 第 41 回日本看護科学学会学術集会, 2021 年 12 月 4 日/5 日, 愛知 (Web 開催).

- 3) 森由美子, 福田敦子, 橋本佳美, 大賀一郎, 長田 美咲, 田野将尊, 松山妙子, 三浦由紀子, 藤村朗子, 堀田昇吾. 看護技術到達度の理想と現実に対する臨床指導者の認識の差異－看護基礎教育における臨地実習場面から－. 第 41 回日本看護科学学会学術集会, 2021 年 12 月 4 日/5 日, 愛知 (Web 開催).
- 4) 高田夢瞳, 三浦珠奈, 村松仁, 田野将尊, 小川賀恵. 災害時における精神障害者・専門職種が求める支援の在り方に関する文献研究. 第 41 回日本看護科学学会学術集会, 2021 年 12 月 4 日/5 日, 愛知 (Web 開催).
- 5) 田野将尊, 菅谷智一, 森千鶴. 日本における統合失調症者に対する認知機能改善プログラムに関する文献レビュー. 第 41 回日本看護科学学会学術集会, 2021 年 12 月 4 日/5 日, 愛知 (Web 開催).

#### <競争的資金獲得状況>

- 1) 田野将尊. 精神科救急・急性期病棟看護師のための地域生活の視点を持った看護プロトコルの開発. 日本学術振興会科学研究費補助金. 若手研究. 2019 年度-2021 年度

#### <社会活動>

- 1) 明星大学人文学部福祉実践学科 非常勤講師
- 2) 医療法人埼玉会埼玉草加病院 非常勤看護師 (リエゾンアドバイザー)
- 3) 第 17 回日本クリティカルケア看護学会学術集会査読委員
- 4) 東京医療保健大学・立川市共催公開講座 講師「コロナ疲れとの上手なつきあい方 ～健やかな睡眠へのいざない～」. 2021 年 9 月 11 日, 立川.
- 5) 第 40 回日本看護科学学会学術集会交流集会 「大学教員と実習指導者の連携による臨地実習教育の取り組み－指導者・大学教員・学生 3 者の立場から－」. 2021 年 12 月 4 日/5 日, 東京 (Web 開催).

#### <その他>

- 1) 田野将尊 (2021). メディカコントロール 第 111 回看護師国家試験対策テス

- ト第1回, メディカ出版, 大阪. 問題・解答・解説作成
- 2) 田野将尊 (2021). メディカコンクール 第111回看護師国家試験対策テスト第2回, メディカ出版, 大阪. 問題・解答・解説作成
- 3) 田野将尊 (2021). メディカコンクール 第111回看護師国家試験対策テスト第3回, メディカ出版, 大阪. 問題・解答・解説作成

## □看護科学専攻 博士後期課程3年 大出順

### <論文>

- 1) 大出順. (2021). 「遠隔教育」の概念分析, 帝京科学大学総合教育センター紀要. 4(1).1-10.

### <学会発表>

- 1) 大出順, 木内志郎(仮名), 中村充浩. COVID-19患者からみた看護とケアの倫理. 日本看護倫理学会第41回年次大会. COVID-19特設セッション. 2021年5月29日, 長野(Web開催).
- 2) 恋水諄源, 大出順. 倫理コンサルテーションチーム活動が職員の倫理的行動に与える効果: 前向き観察研究. 日本生命倫理学会第33回年次大会. 2021年12月27日/28日, 東京(Web開催).

### <社会活動>

- 1) 令和3年度 東京都看護協会東部地区支部主催 第30回看護研究実践報告会 コメンテーター. 2022年1月22日, 東京(Web開催).

### <その他>

- 1) 大出順. (2021). 放送大学 看護師国家試験支援ツール、国家試験過去問解説作成(5問担当)

## IV. 大学院生支援

### 1. 学生数の状況

#### 1) 入学者および修了者数(再入学生を含める)

	入学者数	修了者数	
		春学期	秋学期
博士前期	12名	0名	12名
博士後期	8名	1名	4名

#### 2) 在籍学生数、うち休学者数 2022年1月末現在

	在校生数	休学者数
博士前期課程 1年	11名	1名
2年	13名	0名
博士後期課程 1年	7名	1名
2年	7名	0名
3年	9名	7名
その他		
研究生	3名	
退学者	3名	

### 2. 大学院生支援委員会の活動

1) 新入生オリエンテーションの実施 4月6日(火)14:00~18:00

2) 新入生歓迎会の実施 開催せず

3) 研究成果発表のための国内外学会等への参加派遣に伴う旅費支援の提案と

支援対象に関する審議 今年度はCOVID-19対応で対面とオンラインでのハイブリッド開催の学会もあったが、旅費支援を希望する学生がいなかったため開催しな

った。

#### 4)看護科学専攻・学位プログラムにおける「学生支援対応チーム」<sup>※1)</sup>としての活動

- a. 様々な問題を抱えた学生に対するメンタル面での支援を目的とした面談の実施：  
随時(できるだけ複数人体制での対応を心がけた)
- b. 休学および復学志望者への面接・相談：随時(大学院生支援委員長)
- c. 指導および就学困難なケースへの支援と面接等への同席：随時
- d. その他

#### 5)その他の活動

- a. TA、TF、RA の時間配分
- b. JST 次世代研究者挑戦的研究プログラムー博士後期課程学生支援プロジェクトー候補者の推薦

令和3年度から、優秀な博士後期課程相当の学生に、給付型の支援経費として生活費相当額及び研究費を支給し、研究活動を支援するプロジェクトが開始され、看護科学学位プログラム内で募集したところ、2名の応募があった。その後の審査により2名とも区分1:特に優秀な学生(25%程度)に選出された。

- c. 人間総合科学学術院長賞、看護科学学位プログラムリーダー賞並びに人間総合科学研究科長賞、看護科学専攻長賞候補者の推薦順位付け

令和4年2月時の看護科学専攻・学位プログラム教育会議において、「看護科学専攻長賞の申し合わせ」「看護科学学位プログラムリーダー賞の申し合わせ」に則り、受賞候補者として指導教員より推薦された前期課程修了予定者3名、後期課程修了者2名から、前期課程は1位の者を人間総合科学学術院長賞、2位の者を看護科学学位プログラムリーダー賞、同様に、後期においても1位の者を人間総合科学研究科長賞、2位の者を看護科学専攻長賞の各候補として、出席者より同意を得た。

- d. その他の各褒賞(茗溪会賞、つくばスカラシップ)候補者の選出
- e. キャリア支援担当委員会委員として就職に関する情報の配信

f. ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリア委員<sup>注2)</sup>(大学院生支援委員長)としての活動

注1)「学生支援対応チーム」の役割(学生支援・自殺対策WG報告書(2011.5)から抜粋)《キーワードは、つながる、つなげる、つながりあう》

(1)保健管理センターなど各支援組織との連携の窓口になる。

・保健管理センター等から学生の件について連絡・相談があった場合の窓口になる。

(2)指導教員へのサポートを行う。

・指導教員から学生についての相談を受け、一緒に対応する。

(3)所属する学生の不適応状況の把握と教育組織としての対応を行う。

・履修申請状況や単位取得状況について支援室からなるべく早く情報を得る。

・休学や復学、退学、留年などについての状況の把握と個別の支援・対応策を検討し、実施する。

(具体的には、 a)学業や研究がうまく進んでいない学生への対応 b)復学のための具体的な支援策の構築 c)留年等により担任が代わる場合には、新しい担任と連携を図る d)休学や退学が頻発するような場合は教育組織として適切な対応を図るなど)

注2)平成28年4月より「障害者差別解消法」の施行を受けて、大学全体として障害者等に対する合理的配慮が必要となった。これを受けて、ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターが開設され、大学院生支援委員長が担当委員となっている。

### 3. 今後の課題

筑波大学は、平成23年度より学生に対して直接指導を行う指導教員等を支援すること並びに各教育組織において学生対応に係る対策検討等のために、各学群・専門学群、各専攻単位で「学生支援対応チーム」を設置している。看護科学学位プログラム・看護科学専攻においては看護科学学位プログラムリーダー兼看護科学専攻長と大学院生支援委員から構成されている。今後は、これまでの活動を維持し、さらにより一層大学院生の学業や研究の完遂のための学生生活に関わる支援体制をチームとして取り組む形で強化していく必要がある。具体的には学生への支援対応チームからの一斉メールの配

信、大学院生支援委員相互の情報交換を活発化し、事例に対して委員が個別に対応することはできる限り避け、複数人の教員によってチームで対応する方針を再確認する。

特に、昨年度は COVID-19 の感染拡大によって、緊急事態宣言が発令され、4月1日より大学への入構が禁止されたため、新入生オリエンテーション並びに講義は、授業動画によるオンデマンド配信となったが、今年度は対面授業が開始され、昨年度のように孤立した状況下での精神的な危機をある程度回避することができた。しかし、夏季のデルタ株、1月からのオミクロン株の流行による学生の不安定感はなかなか払しょくできていない。未だ続いていると考えられる心身の健康の危機的状態において、いち早く学生の抱えるストレスや想いを指導教員とともに受け止め対応していく体制作りが必要であると考え

る。

この他、次年度においても、TA,TF,RA の時間配分について学生が学業を全うするのに障害とならないよう継続して指導教員とともに調整を行うこと、訂正され点数化により客観化された選考基準に基づいて、学位プログラムリーダー賞並びに人間総合科学学術院長賞を継続して選出する。学会等への参加時の旅費支援も継続し、より多くの学生に支援を行い、JST などの給付型奨学金の募集や各種褒賞の選出など継続していく。

大学院生支援委員会として、今後も大学院生が学業、人間関係等に悩みを抱えるも相談することを躊躇し、大学院生が学業や人間関係等の悩みを相談できず孤独に陥ることを予防するため、できるだけ迅速かつ適切な支援を今後も継続実施していく方針である。

## V.社会貢献と国際交流

### 国際交流

令和3年度も昨年度の引き続き、コロナウイルス感染症の関係で海外渡航が禁止となっている状況から学生の海外派遣や海外留学が実施できない一年となった。しかしながら、今年度からは本学の協定校などの努力により、オンライン留学のなど機会も創出された。看護科学学位プログラムの学生も、カナダのプリンス・エドワード島大学オンライン夏期英語研修にはばたけ筑大生の助成を受けて参加があった。今後も国際交流課、グローバルcommonsなどと連携を取りながら積極的に学生と情報共有をしていくことが重要であ

と思われる。

協定校との関係においては台湾国立成功大学とのコラボレーションで、Nursing Knowledge in Action: Exchange of Experience in Teaching Strategy of Evidence-Based Health Care Transnational Workshop が2021年10月2日開催され、トゴバタラ助教が招聘講師として発表を行った。エビデンスに基づく医療についてどのような教育を行っていくかということについて意見交換がなされた。

また、令和3年度看護科学教育戦略プロジェクト・看護科学学位プログラムFDセミナーとして、タイ王国タマサート大学との国際オンラインカンファレンスも2022年2月28日に行われ、両大学の教員による看護研究の取り組みを報告し合い、国際共同研究の足掛かりを掴むことを目的に活発な情報交換が行われた。今後の共同研究の萌芽が期待される。

来年度、コロナウイルスの感染症の状況が好転した場合、協定校であるホーチミン市医科薬科大学(ベトナム)、モンゴル国立医科大学(モンゴル)、イリノイ大学シカゴ校(アメリカ)、聖アンソニー看護大学(アメリカ)、南インディアナ大学(アメリカ)、国立台湾大学(台湾)、国立成功大学(台湾)との相互交流を再開させ、有意義な国際活動を展開していきたい。